

ChatGPT に聞いてみた ホロドモール

ChatGPT:

ホロドモール(Holodomor)は、1932年から1933年にかけてソ連・ウクライナで起こった大規模な人為的飢饉で、数百万のウクライナ人が死亡したとされています。

この出来事は、ウクライナにとっては「民族虐殺(ジェノサイド)」と見なされており、ロシアとの歴史的対立の核心の一つになっています。

ホロドモールの概要

項目	内容
時期	1932年～1933年
場所	ウクライナ・ソビエト社会主義共和国
死者数	約350万～700万人(推定値。諸説あり)
原因	ソ連による農業集団化政策、穀物徴発、国境封鎖など
意図	(議論あり)人為的な飢餓政策による民族抑圧と見る立場が強い

背景:スターリンの農業政策

1. 農業の集団化(コルホーズ制度)
 - ソ連政府は個人農業を廃止し、農民を国営農場(集団農場)に強制的に組み入れました。
 - ウクライナではこの政策に対する抵抗(収穫隠しや農場破壊)が激しかった。
2. 穀物の過剰な徴発
 - スターリン政権はウクライナから過剰に穀物を徴収し、輸出や他地域への供給に回しました。
 - 農民には食料がほとんど残されず、種子まで没収されました。
3. 国境封鎖と移動の禁止
 - 飢えた農民が他地域に逃れないよう、村や都市間の移動を厳しく制限。
 - ウクライナの村々は孤立し、飢餓が深刻化。
4. 反ウクライナ的な政策
 - 同時に、ウクライナ語や文化、知識人への弾圧も進行しており、民族意識の抑圧が明確でした。



飢餓の実態

- 家族全員が餓死した村も存在。
- 食糧が尽きた農民が、草、木の皮、死体さえ食べたという証言もあります。
- カニバリズムが摘発されるほどの絶望的な状況。
- ソ連政府はこの事実を国内外に隠蔽し、国際社会からの支援も拒否しました。



歴史的評価と論争

立場

内容

ウクライナ	ホロドモールは「スターリンによるウクライナ人に対するジェノサイド」と認定（法律上）
ロシア	飢饉は全ソ連で起こったもので、民族差別の意図は否定。ジェノサイドとは認めない立場
国際社会	欧米諸国を中心に、30カ国以上が「ジェノサイド」として認定（日本は未認定）



近年の動き

- 2006年：ウクライナ議会がホロドモールを「ジェノサイド」として正式に認定。
- 2022年以降：ロシアによるウクライナ侵攻の文脈で、ホロドモールの記憶が再燃。
- ホロドモール記念日（毎年11月の第4土曜日）：世界各国で犠牲者を追悼。



なぜ重要か？

- ロシアとウクライナの歴史認識の深刻な対立点であり、単なる歴史の一事件ではありません。
- ウクライナにとっては「自民族の生存権」を否定された記憶。
- 現代のロシアによる干渉や侵略が「歴史の再来」として認識される背景になっている。